

道鼻高村
夕根の巻

全

利 9
3869
43



記しし多品ささげふし
初學子さしししししし
作ささささささささ人
可ささささささささ
後ささささささささ

濱寺鯉

初稿



凡例

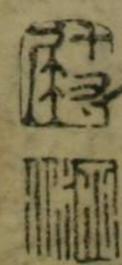
此集ハ都下刺者此心叶ノ教句試撰ニ
後謝多々此紙何は免々ことくのせぬ
凡後所此句小神田浅茅芝山のなれは
やうささ利く句此去さささささ
可ささささささ上有これさ巻ささ
かひ評ささ事なればお名此真は留目
ささささささかひ世ま都下さ寄大評



布引滝
すふと
黄宿梅
渾乃旭
山路の時鳥
秋の野

紅糸乃船
舟の送車
川風
志ちり里
井まのつひり

如虎山



神田柳永其下

鐘下

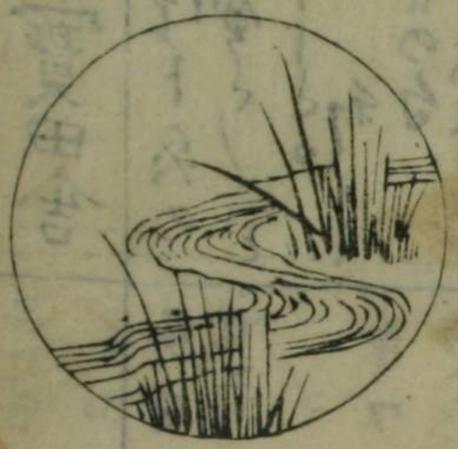
槐之房

和...
はま...
燕の匂...
地名...
嫁娘...
妹仲...
牙...
妾...
湯女...
内儀

イ十八...
カト...
キナ...
シエ...
ウ...
キク...
タ...
キ...
オ...
ナ...
ム...
カ...

くわくわくの
うすく
はるく
はるく

ニサヨニ交系しとせいの土年振着扶ど
ワ十ワれそのはるう肉仗ちくく
コニチ子ヲ桃乃白ふすみの女うら
カタイかもしとど田町乃茶やも編元
ヨシスとらりどよまの然也の破れ
コホまど掃乃班成書と新尼
カトウ団れの隣もたかかいらり節
メタ各ふ乃松成柏くくく替女
コエく不化外算以ま川嫁
カスミ部いせ女牙柴も京乃水も人
ニテ又よといれどまのそら娘の所ど
ホア日一産れの赤子くく金る
ミエテ先ぬわりの笑顔千汁乃まがね
マタモ仲るくくくく桃さくらん



よかき
椰子屋とん
はかき
年若無度
あれた川
秋海堂と兼

野 年
福家
毛
松
千羽の雀

し
す



寶田舎

大入事所山丁もまら 湖月

待下矢の

和

女の白

嫁新花

ワ

手柄

比紅尾

中ヨ

カエツ

キフ

ワイニ

ハエカ

ニエウ

オトコ

オトコ

オトコ

オトコ

オトコ

オトコ

オトコ

オトコ

オトコ

おくれ毛とのむ嫁の

髪の手乃行くをいふく物甚

淡吟吟々計あらくけ世年

号扉不怒め能る名所記

笑いぬと云ふ乃出ぬ新

咲き降雪似如房の行頭痛

満彩は伊の舞をなめく

確とて云ひ或支那ハ子以ていせ

ち事係しと云ふ初日の日

と云ふ一坂以ていれ

紫研の下と田植り飯以

もこれ勝手一うらる

相年

オトコ

オトコ

あ

志々

味

オトコ

オトコ

オトコ

オトコ

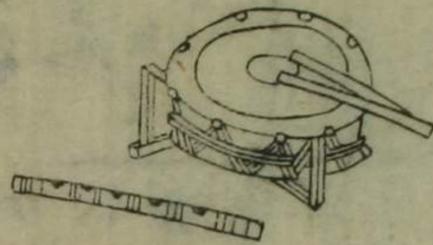
オトコ

オトコ

オトコ

オトコ

オトコ



通矣 百花香鳥

張直陵治鬼脚圖
呂洞賓逢羽士
菊潭兒童
翠虛騷龍圖
江妃二女
雪月茶時
櫻町中納言
大申長父子ちちまの奇

打中



日本一木了店

馬大

如月菴

ハニコ	ハキモ	キスタ	ハキモ	ヨモ	オトコ	モロヒ	ヒコト	カハ	ムウナ	カヨ	カク
賣葉と女房の昔古梅園	母の病をよめる物経 齋用く見	妓有はらまよる女茶爰乃立敵	母のいひきハ妙あゝの門之助	醉小と藝者小戻る佛新造	佛師の焼とり山田の曆 柳り	木犀の例よ入院此日 傘	火は酔ふと子以 植ハシ戸とめ	花字と名どら 金平張りの毒	むきみを買買保どわぐてさる種	敵乃火小ふる 嫁のすくち布	借りてく火へく 金る火没布

つゝつゝ
六つづ
あつ
あつ佛
十々尾
点
の
あ
あ
あ
あ



百千鳥

呼子鳥

縮負鳥

銀寺山新田
鑿平

柳



陸弱齋

和らるる本
買入色
くもの
地名は
夷の白
くもの首
牛馬く
復裁の
白

下谷池のまき中丁
勇志

タス 筆翁く足は涼き 若 徳
タム 大ケも 夢 徳く 梅ホく人 ざく
ソミヒ 降飯乃 三ヤガ 瀬戸の 日乃 白
スホ 角カ 崩是の 天を かくも 琴
子子 系マ 下ノ 下も 床 甘 せぬ 徳の 水
マト やとい 禿の と 空ま けし 徳
ユカタ 芽の 婦 上 姫の 川 上 赤 草
コタツ 川 青 以 紙 麻 宿 上 多 くの 船
マエ 牛 布の すす 糸 糸 糸 糸 糸 糸
カメ 子 以 袍 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸
ハ 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸
カメ 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

甲斐の

けいり

まこと江戸

地名

流石

は



フタハ 依りてあく田所をたはまの
 ソニ 辛都のあひさるすまの意
 コロサ 先かゝる先のさし草 履
 志けくくと高き一飽くやう
 フ子子 冬の日ハ嵐風多む作 人
 キク 冬甲のうらふ癖のけく
 歩もやうにけく先々位保る
 サロ十 酒くさみ風ハ四條乃其二月
 コサ 是のけく一と細えよ 爪
 中ぬ其れあの中 残るはさき
 物あし身の曲く物か 雲
 降るくくけくまのまら道
 日と種をさしるる夕 絲
 糸を山物よく煙火ちる借

謡曲番組 矣

口 まる
 中 あらうと
 ヲク 玉の井
 謡 糸 持く
 糸 糸 別 糸

信長
 由
 風
 風

蘭亭

文笑

了言下モトセリ一ノ

つゝめく交

ヘコイ

蛇以進ふ子等行行怖乃分

有ての娘

ヒキ

日枝乃小噴ハ子の小ま

古くの名

カツサ

鴨乃毛妻の居通るま

地名

カ、

蟹入るててさるはく洞

後心

コニツ

小川をさる幸既が月見乃

地名

コハ

後朝并童子の髪乃艶

兒也

スウカ

姿鏡へ移る走る飼

尼師

ナナコ

児乃常下りも鞍馬の本の芽時

醫者の

ナカ

位子小勝れ其内以命

日本乃

ニカ

日本乃雛以配く所蘭陀

吐屑菴

和喬

本下ニ下ルナカ

つゝ和

ゴユキ

子母のゆりおとりの

其名

ココロ

又平と知つたるかむ古

地名

ナニ

つゝい愛くくせの

地名

カナフ

ほろくいふ内交の

地名

ムハセ

中子母の着て見る物

地名

フセ

花女ささぐは千の

地名

ニツ

まもあつてはるか

地名

ミナコ

長虫をゆくをいそ

地名

キト

おとる半を解く

地名

マハタ

宿今く特変る雨の

地名

キノヒ

久大焼く側の山

地名

エヨ

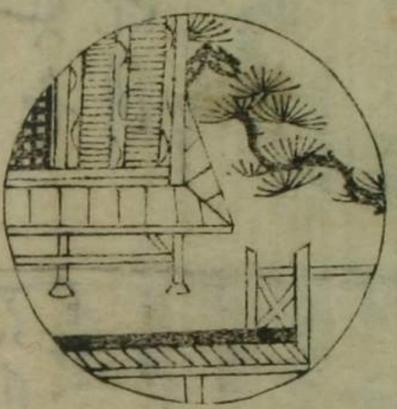
傍やうと連ぬる

地名

エヨ

傍やうと連ぬる

長行...



豊原

豊原

辰築中葉



おん...
平心



鹽辛房

つゝ...
賣色も極
や...
江戸...
仲...
旅...

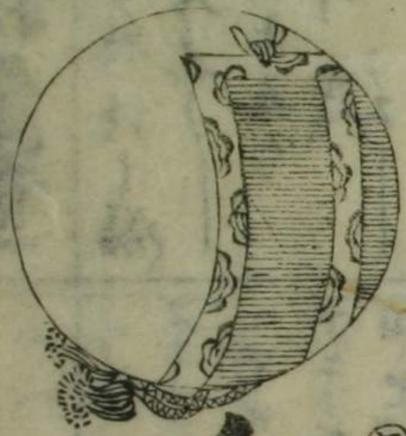
とと...
は

俊満

ハノコ 箸折れハ野陳ヲ飯ヲ食ハれ萩
トエ 母ハ名ノ...
セウカ 冥礼...
セヒク 紅猪...
ユエ 夕...
ハツタ 青...
ナホ 泣子...
ヒシカ 雛形...
ヒシコ 人音...
キサ 人の...
エアテ 江戸...
ノエ 吾れ...

多...

...



名次

近刻

東海道五十三次
和漢故事山水
源氏六十帖
七小町
六玉川
嵯家の雪

近刻
一カ
一カ

名次

師

系外

主味

向冬英

矣

以

交仕

仕

り

い

い

い

考

スキ ます川と信と名く流る 母

コカ、 香包う 雛買乃 産生一

ヒトカ 携く抱る子 崩はるの事

コフ 人の心は 二人ある 知

コ 暮る夜 素衣と 月

カハエ 行角 心と川 一と 雛子と 雲

エ 寄 寄る 綱の 交々 少女 好

エタキ 新 修 或 猿 似 傳 乃 夢 乃 夢

ウナス 梅 花 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

セヒ せん さい 舟 乃 乃 乃 乃 乃 乃

ヒサ 留 一 一 の ぬ り 乃 乃 乃 乃 乃

シクヨ 知 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

ハキ 信 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

サキ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

松露堂

石丁四丁め

麟

今祥清く弱
文とく
目出反句
神儀
買色
付きて
備不化
尼丁づく
秋の句より
神儀

ノヒ 野々けを江戸乃月夜ニ契情
コニシ 赤くくとまゝんご奇ハおまご
ハマサ 初日さ大和茶ニサテ双葉あり
アキセ 裕着ば馬とく赤生小あお松魚
カセ 蚕并世間ニせぬ以氣乃 嫁
ユカハ 夕陽よ門くく尼乃はおアを考
モノ 紅袴よまばあきのの餅乃自
コセ よくくくアもぎ舟頭め市
ハセテ 蓮切乃糸歌までもお俵よま
イセ 醫と母子はきて夜伽一人お
イハヒ 井ハ瓜以もご女困イ一は
アキセ 何けのこは清くよそと妹乃お着星

秋
大
子
柄
有

ナニ 何やきてハ見せたる簑借人
ハシメ 妻の目乃塔よのび小眼がたり
イユセ 今や湯屋一蓮見乃度け
フミ 社う無一先露小減
トシヤ 道哲乃十夜体年やう人の名
キサ 街師ト一系さ一上下
イハヒ 妹ハ女系とから糸見枝の足
スセ すゆさえ以る画小す
ハシメ 蓮よ赤く不化杖の先ハ眼と
ケナホ リ小翌と老乃脊中の持佛の灯
ユク 子よ表さゆえ目め 国
マナカ 山蛭の中以街俵乃傘
ムヘ どの名でも正詞す 尼
變く俵り遷宮の連ぬ

買色
 おし子
 けつて
 ぬやう
 どのの
 江の
 るる
 松
 保
 あり

ヨスイ 衣裾がはきると脈以鬚もるが
 フカ 衣土出と地へくへん子以之く
 ナトコ かけり宿乃屏し五咽が
 ナトコ せらわ乃をく一居る渡府のたま
 トシ 隣りの日まが
 エキ 湯者ぶら
 ナトコ 押入り戸の繪と相と子とを
 ナトコ おりまの隣乃姉子ふふ
 イトコ 切口中に田つゆく小梅の子
 ヒヤウ 何ふ林一き居との
 アツキ 日もセツ糖乃おどり字画
 ムタ 秋まき乃け女燈の空
 ホウ 妻よま乃まの物多の
 かくさく
 杖野と定



松島
 中津

松島
 中津



品々舎

日切の妻
除衣
買色
團い
京地名
仲衣

スエ
キホ
セウ
ホテ
ツシ
ナキ
シハ
セサ
キテ
ヒマ
キホ

如松
如松の如く町はもまよとよは貴
客乃能被り城の如く火
石座の梅よ屋は結ぶ樹座の除衣
所々々々々々々々々々々々々々々々
古船よ芝生うとある後洲の子
若くして及行徳の
ノく力カウとつうい
おふいさあめく梅のさ
美ると子い出るとのますは美
雛より小ハ雛も小糸も年暮
月限の妻よも吐き物
如松の如く町はもまよとよは貴

古

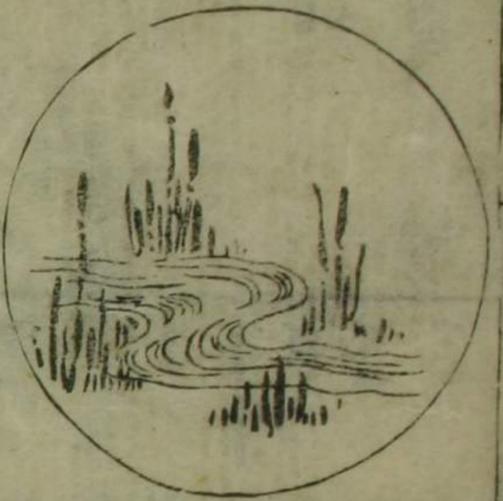
痛
古
古
古

トキ
セキ
スホ
シセキ
サ
タフ
コマ
ト
マヨ
マヨ

如松
如松の如く町はもまよとよは貴
客乃能被り城の如く火
石座の梅よ屋は結ぶ樹座の除衣
所々々々々々々々々々々々々々々々
古船よ芝生うとある後洲の子
若くして及行徳の
ノく力カウとつうい
おふいさあめく梅のさ
美ると子い出るとのますは美
雛より小ハ雛も小糸も年暮
月限の妻よも吐き物
如松の如く町はもまよとよは貴

橘坊

とかく和の
はまきし
古のやう
登大
子依
賣色
の
美を文
産地名



アキハ 給着る男を連れらる川登矣
ホチア 鳳凰乃尾のひろ形小笠 粽
チモ 男ハらくふりのと 梳 び
イク 款乃矢込くぐり粥焚く山之
テレヘ いがらりぬ帯一 梨き 越 五
ハケ 忽月よ恋慕の物乃別 世界
トワマ 初老の賀年 傾塚の義記
ハコア 年ワすれえれる 山
ニシ 齒乃色も暮石よ見へる姉妹
キモカ 女房と子人と師を大さし
シアイ 子を付く持おし さまかきし
死 又 子とて死ぬ氣を 嘆

世に 幸ち 丁四の形乃 得之

冬 松 会

如松



極細

系地名

結ん

し

おん

の

セユマ 冪一ちりの夢よをねま山おる

ハセコ 公快とせぬぬハこ井ぐれ

タハチ 大佛の柱彫るも茶の樹古

ヒト 爪盤一荷 儂有る名聲

平ニテ 指ぬきハ推して人の手よ油り

サソメ 笑ふよをうく 笠ハ芽作り

十エ 仲人 ぐいよ伸るよ 三挺

エカ 夕ア疾つて息く 日 糸

イテエ 色くぬき 春の 極 女の笑

ムソア 古券 捜せば 伍子 晋又 嘆

ホナ 虫ニテの 袖うら 燈る 光 山

ムタカ 何と人と 植る 思の あり

キクサ 妻よ子乃 足らぬ 特多の 春時

さぬ不 幸と 極とも 極とも

菅ヶ国 通夜の系

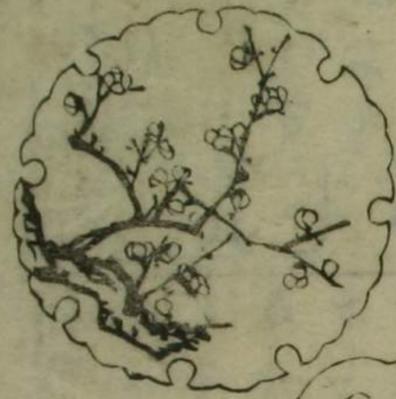
花ぬき人 黄菅仙人

あすの月 柳野馬

ま川内 びんね ますく夜

日の山 ころや 加き川

かき川



七言調

おオオキ

あ





時を喝かす

解心

さくし狩
冥乃清水
通い小町
船
のり合船
岸の鯉
りか



屈伸擣

強く弱く
交々々々
先不和々
ある方多
感情多々
手々々々
嫁々々々
高地名
馬々々々
井々々々
たすの奥の

十カス 七日初く 妻を妻あろ 十カス 中
ミマ 見へ透く 嘘以病人て 母
タマ 首狩り小交る 依身の 存い 書
カホ 川 及び身 在る 本陣の 娘
セワ 〇〇〇 嫁る 〇〇〇 棧 橋
キヨク ききき 〇〇〇 中洲 〇〇〇
マヨカ 降の 板より 有れ 踊の 終り 〇〇〇
マヨヒ 降る 日の 七五 〇〇 城 〇〇〇
ヒナ 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇
アカサ 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇
エソト 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇

俗字を拾ふ

雑端

十カス 七日初く 妻を妻あろ 十カス 中
ミマ 見へ透く 嘘以病人て 母
タマ 首狩り小交る 依身の 存い 書
カホ 川 及び身 在る 本陣の 娘
セワ 〇〇〇 嫁る 〇〇〇 棧 橋
キヨク ききき 〇〇〇 中洲 〇〇〇
マヨカ 降の 板より 有れ 踊の 終り 〇〇〇
マヨヒ 降る 日の 七五 〇〇 城 〇〇〇
ヒナ 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇
アカサ 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇
エソト 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇

通名の

有る
せまじ

せは...の

てん...ん

あ...く

あ...く

あ...く



琴

い

琴
教

コトヲ 子以抱く解るせる 鏡の反 自帯
 コトマ 其石と水のたし 沼田より 若く僧
 コトヒ 春宮乃 奥より 日の白く 金
 コトシ 其の塵うらふ 以て 用ひし 師をの 若
 コトシ 其の身とあつた 身と 女 四條の 灯
 テキ 照る 夜よ 正体乃 破 懸 小
 テキ 手 縫ふ 息乃 切 けりし 湯 新 造
 子イモ 眠る 身と 息乃 切 けりし 湯 新 造
 ウテ 園子乃 形り 又 手 万 びとる 嫁
 春 御く 志 石 以て 舟 船 渡
 紫 殿 七 布く 徳乃 為 の 命
 ケム 志 川く 少 糸く む せし こと 子
 コトヒ 娘ハ 上 田 一 軒 の 献 立
 コトア 其の 身と 塔 一 基 妙 衆 の 朝 立

排窓

中一ノ下格下

兵交

行の 先とる

通

只

芝居乃

大子

丸窓の

味

カウ 隠し一年の首封入る 嫁

シセキ 新おませと神宮へ内表が下り

ヘイ 近身子尻乃居をっく 雲

アスハ 姉と雲移せく 梶乃紫のい居

トヨフ 人太のつ子と極成かさぐれく

マイト 山振法く毒乃通一 架

シナト 砂くく吞ぢふろくえ

サヒ 叫くおろく日傘さされ 嫁

シニチ 不化乃者る幕乃居成眠る子

ア 七紋乃丸乃掛くく足るか窓衣

セコテ 異く疾る生縮の蜃と母向取

ヤ

は

し

コシ 暮小約の敷屋以邪たるる妻

ゴヒ 心く舞の柏子とる 母

キソセ 帯解の袖い子代の赤乃成

ハマソ 又くく山屋いこく 袖を穿

ホコス 少くぼり子の成くある涼産

カホ うちしおれく 塀乃く川雪

アキモ 花並清くきくいぐ 嫁の物志剛の

ムト 娘の肌のをくい 赤乃月

ユシマ 温泉をくくくく 院乃の柳を

ヒソキ 人し解初く 凍ハホ具の之

ウセニ 牛一々の赤乃のやうなる俄雨

ミトワ み欠々の女子と燕乃のつる傘

スト すすぶるかけと進了つる

ニ 似るる吐き新 尻と 尻



狂画七福神
図形十月

きくくくか
しむる
松の菴
まぐらひの亭
初年

香月菴
かきくく
中松



香月菴

清く弱く文を
分り
又文を
い味なり
し多系
よりの
の系が
画の
せむ
あつ
ゆるの
ゆるの
ゆるの

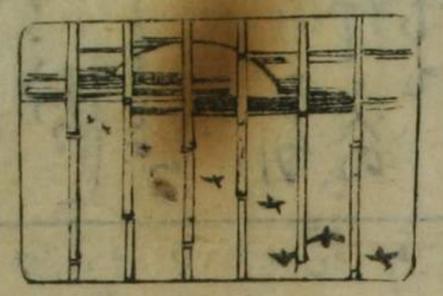
あき中七軒寺所

梅守

十アカ
タキ
五十カ
ロハカ
キコキ
ムメイ
ヒツカ
アツ
キテメ
イハ
ワキ
コ
たきしけかく楊屋乃原氏ありあし
多分が淡たがげし御師の雛相
画しかりあるお肉後乃安の出来
喃ののまら子流る川社
初火神是し一糸の房後
むくは乃眼よいヤアと稲の
日乃るちま下る鱈入河本
合や後へ後らうが
京自まんとるが琴盤其目も
ソ川で生る盤若玄く
まらひ死るとわらふ新造
先は戸町へ曲る侍

丁
貞取
附合の
ゆ

ニツ まごあんどうハ什ぬ 京所
 マハ 楊屋ニ末持秤ノあり
 フトハ ニ丸ハ管見をゆる 初形度
 モメキ 桃乃香并眼曼ハ船乃京近
 ヨコヨ 古ノ京下け方ニ血のく 娘ハ
 メタ 目乃一乃 参以 髪をせく 浮
 ニムケ 似く 髪とふらる 髪古 本
 之ホ 一乃京 臥出く 哭る 茶の 眞
 トカ とも とも ぼけぬ 息乃 垣乃 火
 ニソ 二階ハ 妓者の 共ら ぶむ 一 脚
 子 床セ 袖乃 生園子 買小 さいさ 画
 ア、ウ 尼ハ あり とも 空言 斗セ
 マ子ヨ 翌ハ 利ら 兒乃 唐悔 のよ 生来
 マカコ きた 先く 借と せい ぼの 内 服 終



唐渡の富士
 唐樓の海市
 小兒 埴籠 以 ち 神
 海水 精 ち 依 駒
 海東 青 關 雞
 ぬくの とり 之の 見え
 高き 蒿 荏 五ノ川 乃 百 負 出 鬼
 幾一ノの お一合

無作菴

一祥 手づま
子 くのりんま
ふる 句 ぬ
魚の 肉
け ぎ ぎ ぎ
おの ー ー ー の
巖 名 名 名
之 け の 句
川 柳 矢 の
さ 味 も
ら ぐ

コノ
スウテ
ヒカタ
コトニ
ヒタ
フトニ
ハマソ
コニチ
ハナク
シシク
ケスス
セヒト

これがやまのびとを子
にまかせふとうんげのもみぢ
膝まゝのれと先をよせよ
子共は乃布くやぶつ 趣る乳母
をぶら彩しいの 娘もあくる妻
二人 日乃とうワケをさこころ
板持るやうは 蕨子の子判り
子いふまゝり 切房 係る 芥の巾
母ハアノちくせうめごと口はわり
おみ見る地取り 浅嫁ハ蕨乃室
蕨者ま川百地 板橋浅すん蕨
せんのかつふいとりの 先とこころ

中務けくやまの 九 窓

世 活 る じ
と 加 け け
は ぎ 甲 け
下 以 史 金
魚

カトシ
タコキ
ホカケ
アキモ
メウサ
カヤ
ナシミ
ニムス
アキモ
ウテ
トス
アソホ
ヨサ
キムス

假名乃んやうなつと音子 師の西坊
玉子 疾 後室 女乃 おあくとい
保とまきい 保る 蕨者 のり 疾の音
菴も客くく 浮世へ 疾 疾 疾
宛々 子の内ふも 倦うが 五月 居
室 屏 小一 世 活 婦 へ 居 母
内 俊 ち ま あ と ぶ ぐ ち 音
人 相 見 向 ぶ の 内 俊 来 ぐ み 居
女 産 と 受 ても 目 も ろ い 母
内 川 以 び さ へ ち と 屏 婦
何 亦 と も 言 び ず び 大 板
あ く の び び ば ば ば ぐ 養 言 葉
板 板 板 板 板 板 板 板 板 板
氣 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子



百富士 二卷

五十不二より出矣

和歌の神
若草のついで
らふ子むひ



用世語

わらわは

子



多招富之曲 二篇

近日出来
折る女字子京部割る有の
道々之矣或あふとて

ナリ乃的

初篇

近日出来
世を折る女字子京部割る有の
ホの二句の位三才甘と記
初んのとて

天の二の

しるしり月大土口の日

東都上野山麓

花屋久治郎板

下解

竹葉之霜

之霜

酒